



あなたの老後は  
だれが面倒をみるの？  
あなたに  
もしものことがあつたら  
家族はどうなるの？

<http://www.nenkin.go.jp>

これからの21世紀には、さらに核家族化が進行すると思われます。そのような時代にわたしたちの老後は、ほんとうに大丈夫でしょうか。

●  
例えばあなたが、国民年金の保険料を払っていなかったとしたら、

○あなたのお子さんに生活費のめんどうをみてもらうことになります。

例えばあなたのご両親が国民年金の保険料を払っていなかったとしたら、

○あなたはご自分の生活費も含めてご両親の生活費のめんどうをみることになります。

●  
「あなたは！」「あなたのお子さんは！」二世帯分の生活費を、確実に保障することができるのですか。

●  
さらに、いま働きざかりのあなたに、もし

ものことがあった場合、奥さんや幼いお子さんはどうなるのでしょうか。

●  
35歳からだと、まだ、間に合います。60歳までに25年間保険料を払っていれば老齢年金をもらうことができますし、また、不慮の事故や怪我の場合にも障害年金や遺族年金の保障があります。

●  
国民年金は国が責任をもって運営しているもので、日本の経済社会が存続する限り、決してつぶれることはありません。

国民年金は、これからの時代になくはならないものだからこそ、国が直接運営することでみんなで安心できる老後を保障しようとしているものです。

国民年金には、その他有利な点が沢山あります。きっと納得いただけるはずですよ。

詳しくは、中を開いてご覧ください。

社会保険庁

国民年金はここがポイント!



## 国民年金は、 夫婦で月額13.4万円が 終身保障される。

国民年金は、40年間、保険料を納付すると、  
夫婦の年金額の合算で月額13.4万円(年間160万円)  
受け取ることができます。

国民年金は、働く世代が高齢者の世代を支えるしくみです。

現在、現役のあなたが高齢者世代を支え、将来あなたが高齢者になって働くことができなくなったときには、そのときの現役世代があなたを支えます。

国民年金の空洞化という指摘もありますが全国民(20歳~59歳)でみると未加入・未納者の割合は**5%程度**にすぎません。

## 国民年金には、 障害年金・ 遺族年金もある。

国民年金には、老後の生活を保障する老齢年金だけでなく、病気や事故で障害が残ったときの障害年金や、一家の働き手が亡くなったときの遺族年金などもあります。

国民年金の種類

老齢年金(年をとったとき)

障害年金(事故などで障害者となったとき)

遺族年金(亡くなったとき遺族へ)

ただし、これらの年金の支給を受けるためには、必ず国民年金制度に加入してきちんと保険料を納めていることが必要です。

## 国民年金は、国が運営する制度。 年金額の3分の1を国が補助!

国民年金制度は、長期的な視点に立ち、将来を見据えて、国が責任を持って運営しています。

そして、国民年金については、年金額の3分の1が国から補助されています。つまり、年金額の3分の1が、お得な勘定となっているのです。

## 国民年金は、物価の上昇を反映する、 物価スライドがある。

国民年金は、物価の上昇に合わせて、年金額も引き上げられます。

これは、法律にも明記されていて、国民年金だからできることなのです。

## 国民年金の保険料は、全額、 社会保険料控除の対象!

国民年金の保険料は、確定申告の際、全額社会保険料控除として認められています。

つまり、 $13,300円 \times 12ヶ月 = 159,600円$ が対象となるのです。

このメリットを受けするためには、保険料を納めることが前提となります。  
国民年金への加入と保険料納付は法律で義務づけられています。

同年代の方でやはり年金を買ってない方がおるわけですよ。そういう方々のことを思いますとね、やはり老後になって、**収入はそうはありません**のでね。それしたらやはり若いとき、年金を積み立てて、いま貰えるようになったことは**有難いな**ーと実感しています。

(新潟県／相田恒雄さん)

年金は、**定期的に決まった額**が入ってきますから、生活の心配をしなくていいんです。そして子供は、それなりに生活していますから、今のところホントに生活の不安というのがありませんね。また、**自分名義**のお金っていはって使えるんですね。

(福岡県／中島ユミ子さん)

## 先輩たちは語る

夫が亡くなったときはさすがに途方に暮れましたが、夫が20歳からずっと国民年金を納め続けてくれたおかげで**遺族基礎年金**の給付を受けることができました。決まった日に**確実に**振り込まれるお金はありがたく、また、家族をいつも大切にしてくれた夫からのメッセージのように思えます。

(東京都／Bさん)

国の年金というのは、いくら利回りが悪くたってですね、年金額を減らすなんていうことはありませんし、**終身保障**して頂けるし、インフレになった場合には、**物価スライド**をして頂けると、非常に有難い制度だなーと、いふふうに思ってますけどね。

(東京都／井内美喜夫さん)

事故に逢い、大きな障害が残ったあとは、将来への不安がつるばかりで、眠れない日が続いたけれど、**障害基礎年金**を受けられるようになったほっとしました。何かひとつでも**頼れるもの**があると、もう一度人生頑張れるかなという気になるんですよ。

(兵庫県／Aさん)

年金は**生活必需品**じゃないですか。なかつたら生活できないから、みんな無理しても若いとき掛けてたんですよね。これからは、自分で自分のことをやっていかなくちゃならないんですから、**納めるというは納めて**いかなかつたら、大変だと思えますよ。

(宮城県／渡邊あいさん)